

那珂市議会原子力安全対策常任委員会記録

開催日時 令和5年7月11日（火）午前10時

開催場所 那珂市議会全員協議会室

出席委員 委員長 武藤 博光 副委員長 花島 進

委員 大和田和男 委員 富山 豪

欠席委員 委員 關 守 委員 笹島 猛

職務のため出席した者の職氏名

議長 萩谷 俊行 事務局長 会沢 義範

次長 秋山雄一郎 次長補佐 岡本奈織美

会議事件説明のため出席した者の職氏名（なし）

会議に付した事件

（1）原子力安全対策常任委員会調査事項について

…調査事項について協議

（2）その他

…ホームページ問い合わせについて協議

会議資料 別添のとおり

議事の経過（出席者の発言内容は以下のとおり）

開会（午前10時00分）

委員長 おはようございます。

本日は原子力安全対策常任委員会、ご参集賜り大変ありがとうございます。

連日猛暑が続いております。夕方になれば、夕立が来る真夏らしい季節となってまいりました。皆様方には健康にご留意の上、活動のほどよろしくお願い申し上げます。

開会前のご連絡でございますが、本日は、換気のため廊下側のドアを開放しております。会議は公開しており傍聴可能です。

また、会議の映像は庁舎内のテレビに放映されております。発言の際はマイクを使用し、質疑答弁の際は簡潔かつ明瞭をお願いいたします。携帯電話をお持ちの方は、電源をお切りいただくかマナーモードをお願いいたします。

ただいまの出席委員は4名でございます。欠席委員は關委員、笹島委員の2名であります。定足数に達しておりますので、これより原子力安全対策常任委員会を開会いたします。

職務のため、議長及び事務局職員が出席しております。

まず、議長からのご挨拶をお願いいたします。

議長 改めておはようございます。

今日欠席が2名いるということでちょっと小さな委員会になってしまいましたけども、本日の会議事件が1件、またその他ということですので、慎重なご審議をいただければと

思いますのでどうぞよろしくお願いいたしまして挨拶に代えさせていただきます。

委員長 それでは議事に入ります。

本委員会の会議事件は、会議次第のとおりであります。

(1) 原子力安全対策常任委員会調査事項についてを議題といたします。

調査事項については、まとめの時期に来ています。方法として、これまでの調査についてまとめた要望書を市に提出するか、報告書を議長に提出となると思います。

要望書の場合は、9月または12月の定例会で市長に提出。報告書の場合は議長への提出になります。まず、このまとめ方としまして、要望書もしくは報告書どちらにいたしますか。

富山委員 議長に出した場合、議長のところまで終了しちゃうのか、その先議長から市長に行くのかとか、要望書の範囲とかその辺の説明を要望書というのはどういうものなのかっていう説明をお願いしたいんですが、分かりますか。

事務局長 委員の皆さんがこれまで、調査を重ねてきた件について、あくまでも報告書は議会活動としてこういった委員会活動としてこういったものを今まで勉強してこういう形で研修を重ね、学んできましたというような報告書になるかと思うんですね。その中のまとめ方だとは思いますが、例えば、その中で、こういった部分についてはこういったほうが望ましいとか、っていうものもつけ加えたりとかっていうのもいろんなまとめ方があるかと思います。あと、要望書は市に対する要望書ですので、委員会としてどこまでこういったものを要望していくかということにはなるとは思います。例えば、避難計画を早めに策定してほしいとか、いろいろな要望が出てくるかと思いますが、そちらをどういうふうにまとめていくかっていう、要望書は市長に対して提出するというのが今までの流れで、報告書っていうのはあくまでも、議長に対して、委員会の報告書を提出するという形になるかと思います。

富山委員 そうすると報告書っていうのは、議長のところまでそれ以上のところには、それ以上のところとか執行部のほうにはいかないという、そういう類いのものでよろしいですか。

事務局長 報告書は、今までの例ですと、各常任委員会の調査研究が終わりまとめを行います。今までも、総務生活、産業建設、教育厚生もそうですけども、そういったところでも出しているかと思います。そちらの報告書は全員協議会で報告していたかと思うんですけども、そちらの報告、議長に提出ですけども、議会の皆さんに、委員会としての調査結果の報告がされるような形になります。

副委員長 私は二者択一じゃなくて、まず報告書は、簡潔だろうが何だろうが、出すと。要望があれば、具体的に考えて、こういうことを要望しようということで、出すというふうに考えたらいいかと思います。報告書はとにかく活動報告で書けばいいと思うんですけど。問題は、要望として何か出すかってことですよ。いろいろあるわけでアンケート調査を

やりなさいとかね。それから住民投票について考えると、あとは細かいことも含めれば、ないことはないので、これから皆さんの意見聞いてかなと思うんですけど。

大和田委員 私も、花島委員に同じような意見なんですけど、これまで2年間、いろいろやってきました。また今度は視察も行くっていうことで。思い起こせば、我々も忘れていた活動内容も多々あるかと思えますので、しっかり振り返って、報告書をつくりながら、思い出したところを、要望書にまとめていく、そういった作業でよろしいんじゃないかなと思います。

以上です。

委員長 今の要望書とか、もしくは報告書ということで、副委員長においては、報告書としてまず報告して、要望書としても提出するっていうのは二つという感じなんだと思いますけども、どうでしょうね、二つという感じ。

大和田委員 とにかく振り返りながら何かまとめていかないと我々も何か頭が行ったり来たりしちゃっているような、いろんな意見を大分活動してきたと思うので、一旦振り返りをしながらそこら辺は決めてっいたらいいんじゃないかなと、市に要望するのがあればするべきだし、なければないんで終わっちゃうのかもしれないですけど。やっぱり一度振り返ってまとめたほうがよろしいのではないかなと思います。

副委員長 私が言ったのはまず要望じゃない報告書は必ず出す。これはこれまでの活動のまとめみたいなこと。あと要望書については、要望があるかどうかで出すということをもまず先に整理したいと思っています。その先ですが、要望書については、特に広域避難計画とか避難体制について、いろんな課題があるので、その辺をちゃんと検討しろみたいな内容のやつはあってもいいかなと思っています。それは皆さんのご意見を聞いてから、内容も含めて、検討していけばいいかと思っています。

いかがでしょうか。

委員長 では、まず報告書を作成する方向で進みたいと思います。報告書の場合は、どのような文面が。やっぱりこの2年間を振り返ってこれこういうことをしたりして、こういうふうな意見も出ましたっていうことを取りまとめるのが大事だと思うんですけども。内容については、副委員長と私で、よろしいのかな。ある程度概略まとめて。

副委員長 特に委員の皆さんのご希望がなければ、大体のことを委員長、副委員長でまとめて皆さんに流して、それでいいかどうかを聞いて、最終的にまとめたらいいかなと思うんですが、まだ時間ありますよね。9月議会と12月議会があるので、9月議会が少なくとも終わる後でもいいかなと思っています。どうですか。

委員長 いいですね。

(「はい」と呼ぶ声あり。)

副委員長 今のうちに、こんなことっていうのを出していただいたらいいと思う。

富山委員 副委員長が言っていたとおり、やったことと出た意見しか報告出来ないわけですか

ら、私は副委員長の言うとおりでよろしいと思います。それ以上はつukれない部分ありますから、ちゃんと事実に基づいて出せばいいと思います。

委員長 このやったことについては時系列的に並べて書いていくと。あと意見があったこともそれに付随して書くと、そのようなのをまとめて、9月目途に提出、委員会のほうに1回お出しします。そんな形でよろしいかな。

（「はい」と呼ぶ声あり）

委員長 そういうことでこれはちょっと、まとめてみます。

要望書と違い報告書のもので、こちらから何とかを希望するとか要望するとかっていう文言はなくて、事実がそのまま羅列するだけっていう形の報告になりますので、その点ご理解をお願いしたいと思います。その先要望があれば、要望書の提出ということになるかと思えますけども、まずもって報告書ということになりますので、よろしく願いいたします。

次、その2を議題といたします。

その他で、市民から、2月に実施した市民の皆様の声を聴く会のアンケート結果をホームページに公開してほしいとの意見があります。今回このアンケート結果の掲載の有無について、皆様方のご意見をお伺いいたします。

3月の原子力安全対策常任委員会ときには、市民の皆様の声を聴く会の振り返りを実施しております。そのときに事務局からのアンケート結果の説明を行いましたので、会議録の中にアンケート結果を掲載し、ホームページでは公開しておりますということです。

今は、公開してあるんでしたっけ。

次長補佐 はい。

委員長 まずこのアンケートというものを掲載するか否かということなんですけども、今の段階では、ホームページで公開しているということなんで、どうでしょうこれ、もう1回やっても、重複した形の答えになってしまうのかな。

副委員長 いや、問題はどのように見えるかであってそうではないです。

委員長 暫時休憩いたします。

休憩（午前10時15分）

再開（午前10時17分）

委員長 再開いたします。副委員長。

副委員長 委員会の議事録としては、こういう結果が出ましたって話されたことが載っているけども、それはアンケートを公表したというふうにはちょっと遠いかな。これこういうことをやってアンケート結果はこうでしたっていう形で、何か見える形じゃないと。市民にとっては、よほど関心のある人じゃなきゃ見きれないので。会議録は今、サイドブックで見たけどホームページで見られるのは何年度の原子力安全対策常任委員会の議事録並んでるやつ見て、3月の議事録を見て、その中をずっと見ていくと、アンケートの結果につい

てはなされてますね。それだけでしょう。

事務局長 会議録の中でアンケートの内容につきまして、ご説明申し上げた部分について、その会議録自体が公開されているということですので、そちらでご覧いただければ内容については確認いただけるものとは考えております。

副委員長 それだけでは普通アクセスしにくいので、訴えている方がそれを知らないのかもしれませんが、それとは別にして、もうちょっとここにこういうものがあるよとわかりやすいようにしないと。本当の意味で公開しているとは言えないと私は思います。

ほんとにすごい関心がある人だけ。ということで、はい、どうぞ。

富山委員 これ、多分アンケートって、委員会でこないだ二十五、六人の方の市民アンケートとかのお話じゃないですか。あくまで委員会でのアンケートの付随してあった部分のアンケート結果についてということですか。そこを公開してほしいということ、質問に応じた答えがどうなっているかっていうの。どういう設問だったんですか。

事務局長 アンケートにつきましては、2月23日に開催しました市民の皆様の声の聞く会、そちらで参加された方に対しましてとったアンケートです。

今回、そのホームページでご意見をいただいた方は、その委員会の中で、そういったものの説明がありましたのでそちらを箇条書などで紹介してもらえないでしょうかというような要望の問合せがあったということです。

富山委員 これ今、公開してないんですか。これですか。この部分、公開してないんですか。

大和田委員 市民の皆様の声の聴く会っていう、やつなんですか、これ誰が市民の皆様の声の聴く会なんですか。そもそも、誰が……。我々委員会です、我々委員会が市民の皆様の声の聴いて、それを受けての何ていうんでしょう。我々の材料だと私は思っていて、そうするとまさに委員会での会議録がそのものというか、公開するべきもの、あるべきだと思っています。いろいろ我々の判断材料の中身として、これから議論が進めていく中で公開というか、市民の皆さんにわかっていただく材料だと私は思っていますので、逐一というとおかしいですけど、そのアンケートの結果は我々の手元にあるべきものなのかなと。市民の皆様にはわかってもらうというわけではなくて我々のものであり財産であるのかなと、私は思うのですがいかがでしょうか。

副委員長 第1にはそうですけど、けども、ご意見を言った方にしてみれば、こういう意見があったということ、より広く知らせてもらいたいってことなんだと私は考えています。それは、一般論から言えば、各委員会でも市民から話を聞く場合でも全て公開しろっていう話ではないと思うのですが、この問題は結構市民全体に関心のあることであって、この市民の意見を聴く会に参加しなくても、どんな意見が出たのかなとか、関心がある人が多いと思うんです。ですから、それを公表してもらいたいっていうのは、別におかしいことじゃないので、我々が聞いたこととしてそれはそれで大事ですけども、こんなことも意見がありましたっていうのを出すということも意味があるかと思っています。

ます。

富山委員 原発に触れているのって1か所だけなんですよ。東海第二発電所の再稼働について、それって文言で出てなかったでしたさっき、これを説明し出ていると同じだと、これは思っちゃうんですけど。1か所だけです。地区、年代、職業、情報の入手先、最後に東海第二発電所の再稼働についてって1か所だけ。だから先ほどの文言に出ている、これを出せていうのも出せない理由もないですし、さっきの文言に出ていますからね。70何パーセントの方が、そういうことで出ていたと思うんですけど。同じだと思うんですよ。ただ、このきたところまで知りたいのかなっていうのもあると思うんですけど。もう出ているから、グラフにして出すか出さないかっていう。

副委員長 私は別にグラフにして出したほうが見やすいからいいと思うんですが、別にそこまでやらなきゃならないかっていうと、そうは思っていないけど。

ただ、アンケートのことでこういう意見が出てきましたとか、アンケートの結果でこういうことは、出ましたっていうのは、この議事録に1回書いてあるんだったら、議事録に書いてありますからって、ただ投げるんじゃなくて、議会のホームページでもいいですが、原子力安全対策常任委員会の、ここに、こういう記述がありますっていうのを載せるのが1番簡単なと。そのくらいでやったほうがいいと思う。我々に配られたようなきれいに整理したやつを出すんだったらそれはそれでいいですけどね。

事務局長 ちょっと私の説明が足りなかったかと思うんですけども、市ホームページへのお問い合わせの内容としましては、そのアンケートの内容だけではなくて、その会議の中で出た意見について、全意見を箇条書で紹介してほしいというのが大きなところ。一応、今回ホームページでそういうものを要望出してこられた方としては、そういうのを公表したほうが、公正な、公平な記録、公表の方法になるんじゃないですかというようなお話があったんです。

ただ、当然その会議録っていうものが、やはりそもそも、その会議の中で発せられたものを、一つ一つ振り返りながらそういった意見も出しているところなので、これをまとめるとなるとまたどういったまとめ方、表現になるかっていうのもまた今度は違ってきちゃうところもあると思うんですね。あくまでも公正、公平なものとしては、会議録が1番公平、公正な記録になるのかなというふうには考えております。

富山委員 会議録で残っているんですもんね。

委員長 会議録で出すのがいいかもね。

富山委員 全部そうすると出るわけですからね。

委員長 これ技術的にはこのやつを、リンクして張りつけることは可能ですか。

副委員長 最低限、令和5年3月の原子力安全対策常任委員会の議事録をご参照くださいだっていいわけですよ。それはリンクがなくなっちゃって、分かる人は分かるから。ただ、こういうことが行われたことを書かなきゃいけないから。それはどこかに埋め込んで、目立つと

ころに議会のホームページでも。

大和田委員 もうちょっとだいぶ過ぎちゃったので今後という形にさせていただくのが、今回は。いきなりもう何か3月のがそこだけ出てきたっていうのも。今回はそうすると例えば、他の委員会のまたこれもなんていうの、巻き戻して全部こういう議事録出ました議事録出ました最新、最新も出せない最新ではないんで、今回はこれでメールの方には、これでご理解いただいて、今後またホームページの話は一つなんか議題に上げてもらえたら、どこで上げるのか分かんない議運だか何だか分かんないですけど、上げてもらえたらいいのかなあとと思うんですけども、どうでしょうか。

副委員長 会を催すときに案内なんかホームページに載せられますよね。それと同じような感じで載せればいいので、ここを見てくださっていう内容ですけどね、私が言っているのは、それ1番手間がかからないんで。大和田委員が言うように全部のやつを一々書くってのはそれはそれでいいけど、ある意味でぼけちゃうんですよね。だから、特に要望のあると思われるやつだけそうするってことで、僕はいいと思うんですよ。例えば今日の議事録ってどれだけ皆関心があるって言ったら・・・そうでしょ。だから難しいことじゃない。とにかく我々が考えて、出すなら出す、特に市民から要望があったら、それに答えればいだけだと思えます。きれいに整理してっていうんじゃなくて、まずはできることを。きれいに整理するっていうのは、手間もかかるしね、コストも。だから、どうですかね、会議を催しますよって案内と同じようなところで何ていうかな、この結果については、何月何日の委員会で報告されていますから、そこをご参照くださいぐらいで。

大和田委員 ホームページをリニューアルすると言っていたけどいつ頃になるの。

次長補佐 ホームページのリニューアルはもう少し先になると思うんですけども今現在、執行部で考えている状況です。

副委員長 要するにそういうね、大枠の何かを変えるっていうときに、細かいことまで整理された形で入るのは別に構わないけど、だけど、こういうものって大事なものは、こまめにすぐできることをやるってことだと思えますよ。技術的に全然難しくないはずなので、今私が言った提案、やっていただけたらいいと思います。

富山委員 会議録は公開されているけど、ああいう会のお話は公開されていないんですね。会議録ってここで今話したことは、会議録として公開はされているけど、語ろう会みたいなのは、公開されていないってそれを公開してほしいっていうことですか。

副委員長 いや、そうじゃなくて整理された形でしょ。

事務局長 今回ホームページで要望を出して来られた方については、4会場で出た多数の意見が議会だよりの欄のところにコンパクトに編集されただけで、何ら記録として残っていないっていうのが、ちょっとやはり不信感を持たれているということになります。その中で全意見を箇条書でもいいから紹介してほしいっていうのが要望された方のご意見ということなんですけども。

先ほどと同じ話になってしまいますが、やはり公平公正な記録っていうところだと箇条書にまとめたときに、結局言葉尻とか、その場の雰囲気とか、やはりそのときの熱量とかっていうのも関係しての話だと思うんですね。なので、今回そういった意見が出ましたっていうところを全部、箇条書で出すかっていうところが、正直、どういった形が正解かっていうのは難しいところだと思います。

あと、会議録なんですけども、例えば、原子力安全対策常任委員会、そちらの会議録の公開の仕方としまして、何年何月何日の会議録っていう形でその下のところに見出しで、その会議内容が入っているんですね。例えば、令和5年3月10日、会議録PDF形式でその会議内容としまして、市民の皆様の声を聴く会について、2番として、委員会の今後の進め方についてというように、そういうものも出していますのでそこをご覧いただければと思うんですけど。

委員長 今局長から説明があったんですけども、これ箇条書にして、羅列してやるっていうと、やはりその部分的なはしよりとか、過剰表現だったり、非常に難しくなると思うので、このままずばりをやはり投稿してきた方に教えて、そういう方向しかないかと思うんですけどもどうです。よろしいですか。

副委員長 はい、分かりやすく、そこに誘導出来れば。

委員長 これからです、このような形で質問とかがあったときは、こちらで編集しないでそのままずばりの意見をお答えすると、それが1番問題ないかなというふうに思いますので、この件に関しましては、投稿者にはそれなりの方法でお知らせするというところでよろしいでしょうかね。

大和田委員 会議したのを、市民の皆様の声の聴く会をじゃなくて。

委員長 はい、この会議録そのものをお答えするということです。全部で。

大和田委員 会議録をね、この委員会の会議録をね。はい、分かりました。

委員長 それが1番公平なお答えかと思います。

副委員長 厳密にはそうじゃないんですよ。だから事務局長がそこでどういうふうに言ったかによってそれが反映されちゃうわけだから。だから現実にはそうじゃないんだ、私が言いたいのは、今回はそれで対応しましょう。それはケースバイケースで考えたらいいんで。これは未整理して、その箇条書みたいに、整理したほうがいいと思って我々判断すればそういうふうにするってことだってありうるけど、今回はそこまでやらずに、ただ単にこの委員会の議事録のところに、誘導するようになるだけで、要望に答えたらどうですかってことです。

大和田委員 私もそうであると思いますけどあと入り口かな始まる、今回はこの市民の声を聴く会ですっていうのも、やはりもしかしたら今後会議録に載せるなんていうね、全員の市民の声まで会議録載せるってなると、自由闊達な意見が出ないときだってあるかもしれないし、そういった入り口のところで、どんな会にしていくかっていうことをやはりしっか

り議論してから、こういうこともあるだろうというのを想定してから開くべきだなと思います。

以上です。

委員長 今回に関しては、その質問者にこの内容をお答えする形にいたします。

あと次、何かその他でございますでしょうか。

ないようですので、本日の議題はこれにて終了といたします。

以上で原子力安全対策常任委員会を閉会いたします。

皆様、ご苦労さまでございました。

閉会（午前10時38分）

令和5年8月5日

那珂市議会 原子力安全対策常任委員会委員長 武藤 博光